

ともに・こころ・つたえあう～男女共同参画fromむさしの

# まなこ

manako.

第二次  
わたしたちの男女共同参画計画ができました！

NO. 74  
2009 spring



『まなこ』で知りたい！ Happy コミュニティ・ライフ の始め方

# できました!

平成21年3月、武蔵野市第二次男女共同参画計画が策定されました。

- ・この計画がめざすものは?
  - ・どんな事業が行われるの?
  - ・わたしたち市民の関わり方は?
- 『まなこ』と一緒に見てみましょう。

- ◆計画のポイント「市民・事業者・市の協働」
- 「地域ぐるみで推進」
- 「実現できる計画を」

## 《基本目標Ⅰ》 仕事と家庭、地域生活の調和を図ろう!

男女共同参画社会を実現するには、ワーク・ライフ・バランスの実現が不可欠です。

子育て・介護の支援、女性の仕事力、男性の地域力を育て、多様な生き方が選べるような環境を作ります。

- ☆女性も男性も仕事や地域生活を  
楽しめる環境をつくろう!
- ☆女性が働けるようにサポートしよう!
- ☆男性の地域参加を応援しよう!
- ☆企業の地域貢献を推進しよう!



《どんな事業を?》

- ◆子育て支援・介護への支援
  - ・子育て支援施設のサービスを充実
  - ・保育園の待機児童の解消。
- ◆女性の就労・再就職支援
  - ・再就職支援セミナーの実施
  - ・就職・再就職の情報提供
- ◆男性の育児・介護・地域活動への参加促進
  - ・各種講座や『まなこ』などで啓発活動やきっかけづくり

## 《基本目標Ⅱ》 人権を尊重し、心身ともに健康で、自立した生き方を!

どんな暴力も絶対に許さない、というメッセージを地域の中に浸透させます。DVへの対策をすすめ、あわせて意識啓発活動を行い、また相談体制の整備を強化していきます。男女が互いの健康を理解し、尊重できるよう啓発するとともに、自立した生活を送るために、生涯を通じた健康管理を支援します。

- ☆女性の人権を守るために相談体制を強化しよう!
- ☆女性に対するあらゆる暴力を防止しよう!
- ☆生涯にわたって女性も男性も健康に過ごせるように支援しよう!

女性総合  
相談窓口

女性が気軽に相談できる総合相談窓口機能を整備する。

乳がん検診  
子宮がん検診

一定以上の年齢の女性を対象に行っている乳がん検診・子宮がん検診の受診率を引き上げるために、広報や周知にさらに力を入れる。

DV対策

- ・被害者支援の体制を確立させる。
- ・デートDVなどの発生防止のための啓発活動

### ◆男女共同参画計画の策定までの歩み



イラスト/きたもりちか

推進市民会議の設置 平成19年3月

全17回の市民会議開催

市役所内の推進会議 20年6月  
市民の意識調査の実施 20年7月

市長へ推進市民会議の報告書を提出 20年11月  
市役所内の推進会議 20年12月

新しい計画案(第二次男女共同参画計画)の作成  
パブリック・コメントの実施 21年1月  
市役所内の推進会議 21年2月

武蔵野市第二次男女共同参画計画策定 (平成21年度~25年度)

わたしたちの

# 男女共同参画計画が

## ◆基本になる考え方

男女が互いの人権と能力を尊重し合い、働き方や生き方を柔軟に選択できる男女共同参画のまちを実現しよう！

## ◆市民が支える男女共同参画計画

男女共同参画推進市民会議委員長

高田素子氏



一年半にわたって重ねてきた市民会議と意識調査の結果に基づいて、

市民の想いがつまった報告書を作成することができました。報告書の提言を受けて、今回の「武蔵野市第二

次男女共同参画計画」が策定されたということ、一人でも多くの人に知ってもらいたいと思います。

「男女共同参画のまちづくり」

は、行政に一方的にゆだねるものではなく、本来私たち市民がつくっていくものです。女性も男性も、さまざまな立場から見えたことを声に出していくことが、男女共同参画社会につながると思います。

そのための「確かな一歩」を実現

するためには、武蔵野市で今一番大事な課題は何かを知り、それを実現するための計画を立て、さらに、計画の実施の過程をしっかりと見守っていくことが大切です。

これからは、地域の事業者の協力も不可欠で、その上で、市民、事業者、行政の協働の仕組みをしっかりと作っていく必要があるでしょう。

(聞き手 戸田真帆子)

## 《基本目標Ⅲ》

## 男女平等と自立の意識を高めよう！

「家事や育児は女性の役割」「男性は仕事をして家族を養う」といった性別で役割を決め付けるやり方を見直しましょう。男女平等意識をもっと浸透させ、自立意識を高めていきます。そのためにも男女平等に立った教育や学習を徹底させます。



☆男女平等の教育と学習をすすめよう！

☆男女平等の実態を把握しよう！

☆たしかな目を養い、メディアリテラシーを高めよう！

《どんな事業を？》

学校教育や生涯教育の中に、専門家や地域の人材を活用し、男女平等の意識を深めていく。むさしのヒューマン・ネットワークセンターの出前講座などにより啓発活動を行う。

## 《基本目標Ⅳ》

## 計画を実現する体制を整えよう！

この計画をぜひ実現させるために、市民・事業者と行政が協力してすすめていく必要があります。市民も計画の実行に関心を持って見守り、支えていきましょう。『まなこ』とむさしのヒューマン・ネットワークセンターもそのためにしっかりと活動します。

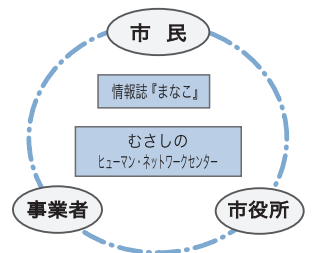
☆政策や方針を決める場に女性も参加しよう！

☆計画を実現させる体制をつくろう！

☆むさしのヒューマン・ネットワークセンターと『まなこ』をもっと充実させよう！

☆男女共同参画基本条例(仮称)を検討しよう！

### 計画の推進体制



## 計画を読むには？

### 配布先

- ・市役所西棟7階市民協働推進課
- ・むさしのヒューマン・ネットワークセンター
- ・各市政センターなど公共施設

### 閲覧場所

- ・各図書館
- ・西棟7階市政資料コーナー

### 市のホームページ

- ・「施策・計画」の「第二次男女共同参画計画」をご覧ください。

味があったのは、市民が行政とどう協働していくかだ。武蔵野市の男女共同参画の現状や課題がわからず、最初は手探り状態。委員として自分に何ができるのか、悩みながら行きたいのが、「男性が地域活動に、女性が経済活動に参加しやすい社会」にするための提言。家庭でも地域でも職場でも、お互いが尊重し、協力し、支えあう。相手への理解や配慮が豊かな社会をつくる。政策任せではなく、自分たちにもできることを考え、身近なことから始めたい。

(聞き手 遠藤梨菜)



市民が参加できる制度があると知って応募した市民会議委員。興

## ◆公募市民委員として

男女共同参画推進市民会議委員

菅野昭彦氏